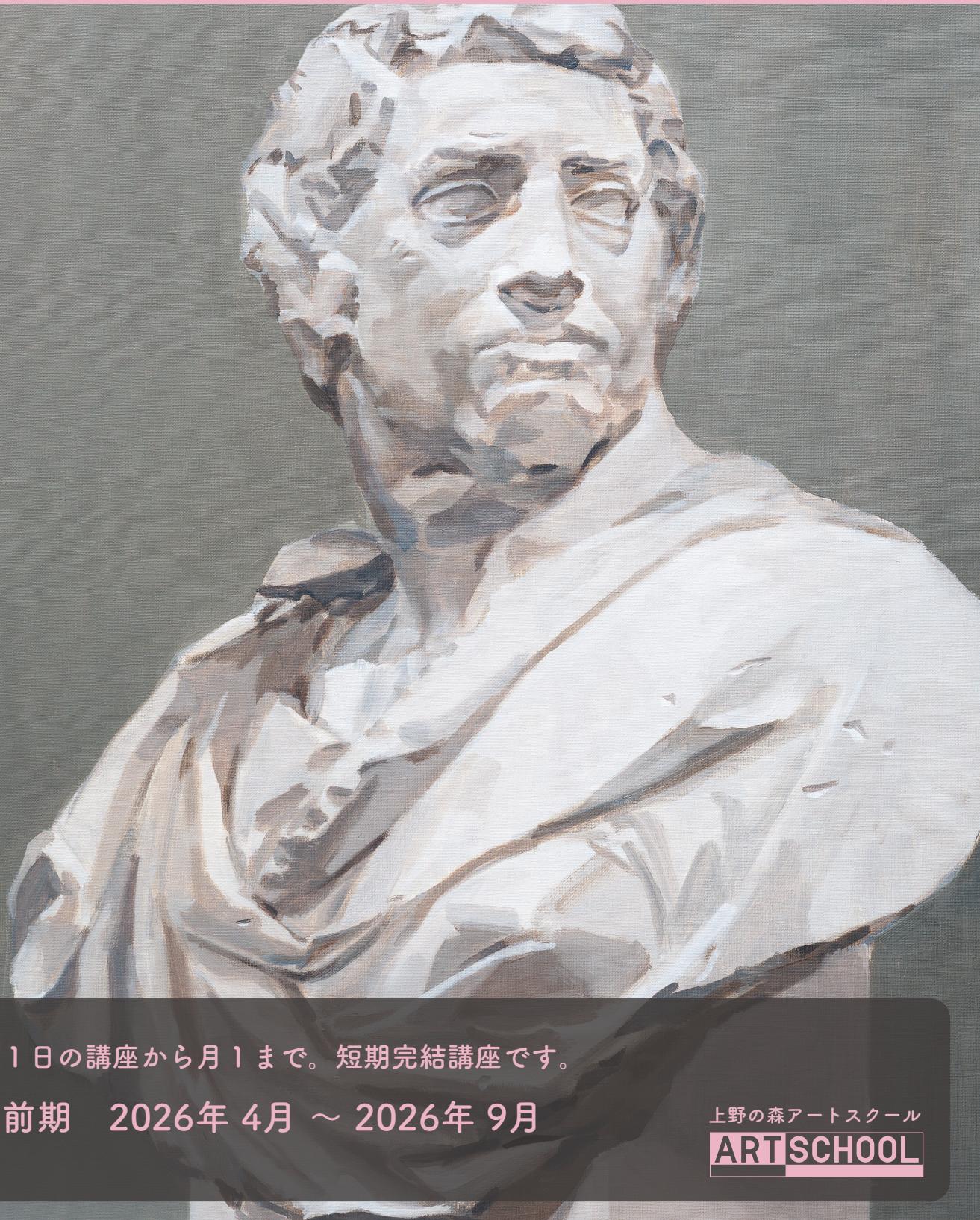


単発講座



1日の講座から月1まで。短期完結講座です。

前期 2026年4月～2026年9月

上野の森アートスクール

ART SCHOOL

2026年前期単発講座(2026年4月～2026年9月)

受講規定 P.2～3の内容にご同意の上、巻末の申込書またはホームページよりお申し込みください。

お申し込み

- ・上野の森美術館友の会会員／一般にかかわらずお申し込み可能です。ただし、一部友の会限定の講座があります。
- ・申込書の受講希望講座番号に○を付けて、FAX・郵送または当館1階事務所までお申し込みください。ホームページからのお申し込みも可能です。 <https://www.ueno-mori.org/artschool/>
- ・申し込みを受理しましたら、「受付状況」をメールまたはFAXでお知らせいたします。メールまたはFAXのご登録がない場合は「受付状況」のお知らせはありません。必ずどちらかのご登録をお願いします。

上野の森美術館 友の会特典【優先申込】 / ★印の講座は初回受講者優先

- ・友の会会員の方は、友の会優先講座(**先着順**、★印以外)を受講確定日までにお申し込みいただくと、先着順で受け付けいたします。
- ・友の会入会(新規・更新)をご希望の場合は、申込書の記入欄「友の会入会」に□をしてください。講座のお申し込みのみ、友の会優先として受け付けいたします。講座の開催月以前にその他の友の会特典をご希望の場合、別途入会手続きをお願いいたします。友の会特典につきましては上野の森美術館ホームページをご覧ください。
- ・友の会会費(3,500円/有効期限1年)は受講料とともにご請求いたします。友の会有效期限内の方は有効期限1か月前にお送りする更新のお知らせをお待ちください。
- ・★印のある講座は、当スクールの講座を初めて受講される方が優先(先着順)で受講できる講座です。
- ・**友の会限定**の講座は、友の会へご入会いただきます。受講日に期日が切れている場合は更新をお願いします。

会場・時間・受付

- ・会場：上野の森美術館別館3階アトリエ
- ・時間：10:30～16:00(昼休み1時間あり)夜間や一部の講座は時間が異なります。各講座ページにてご確認ください。
- ・受付：講座開始30分前より当館1階警備カウンターで行います。受講証(シール)をお渡します。
- ・受講証は見えるところに貼ってください。友の会会員は、会員証とともに携帯してください。また、休憩などで外出から戻る際には、受講証を美術館入り口でご提示ください。提示がない場合には入館をお断りする場合があります。事務所対応時間および退館時間は講座終了30分後までとなります。

受講確定

- ・お申し込みの受付状況、受講料、お支払いに関するお知らせはメールまたはFAXでいたします。
- ・**メール登録と受信設定のご確認をお願いいたします。ご登録のある方には、受講確定日に「受講料のお知らせ」、「お支払いに関するお知らせ」の2通のメールを @ueno-mori.org よりお送りします (no-reply@のメールは返信不可)。**
メールによるキャンセル、その他の連絡は受け付けておりません。
- ・メール登録のない方(不達の場合も含む)、コンビニ専用振込用紙でのお支払いをご希望の場合は郵送いたします(別途手数料300円/再発行手数料200円)。申込書の郵送希望欄へ□を入れてください。なお、受講日までに時間の余裕がない場合はこの限りではありません。
- ・希望講座が満員の場合、キャンセル待ちのご連絡をいたします(メール・FAXのみ)。
- ・各講座原則定員18名とします。
- ・受講料は講座により異なりますので、各講座ページをご確認ください。記載金額はすべて税込みです。
- ・友の会優先と★初回優先の講座に空席がある場合、一般のお申し込みでも受講可能です。なお定員数を超えた場合は抽選を行います(受講確定日は各講座ページに記載)。
- ・受講確定日以降に空席がある講座は先着順で受け付けます。

お支払い ※「受講料のお支払いに関するお知らせ」をQRコードまたはホームページよりご確認ください。

- ・メールでご請求する場合は、オンラインクレジット決済、銀行振込(ペイジー)、コンビニでのお支払い、全て手数料がかからずご利用いただけます。メールの案内に従い、お支払いをお願いします。
- ・支払期日までにお支払いください。お支払いが遅れる場合、または受講をキャンセルされる場合はお電話にてご連絡ください(メール不可)。また、ご入金後のキャンセルは返金できませんのでご注意ください。
- ・一度お支払いいただきました受講料・会費は返金いたしませんのであらかじめご了承ください。



受講上のお願い～皆さんに気持ちよく受講していただくために～

【重要】講座での注意事項

- ・講座内の録音、録画、写真撮影はお断りしています。それにともなうトラブルに関してスクールでは責任を負いかねます。携帯電話はマナーモード等に設定いただき、ご使用はアトリエの外でお願いします。
- ・モデルの撮影はできません。モデル講座時のアトリエ内では、スマートフォンやタブレット等電子機器は使用禁止です。かばんの中にしまってください。
- ・モデルのポーズ中は入退室できません。休憩時間までお待ちください。

講座内容等の変更、開催中止（延期）について

- ・各講座はカリキュラムに基づいて行いますが、日時、内容に変更が生じる場合があります。変更による経費の増減があった場合は追加集金、または返金をします。
- ・自然災害等やむを得ない事情で講座が中止になった場合は、延期して開催し、その開催ができなかつた場合は返金します。
- ・延期開催に出席できない場合、受講料の返金はできませんのであらかじめご了承ください。
- ・お申し込みがきわめて少数の講座は、開催を中止する場合があります。

画材や作品について

- ・事前に画材を送られる場合は、お電話にてご連絡ください。
- ・制作サイズの上限はS100号（162.0×162.0cm）までとし、額縁をつけない状態に限ります。
- ・キャンバス木枠の組み立てや、キャンバスを張る作業など、音が階下に響く作業は行わないでください。
- ・道具や作品は各日にお持ち帰りください。アトリエに置いておくことはできません。
- ・紛失防止のため、作品や描画材、スケッチブック等の持ち物には必ず氏名を記入してください。

その他

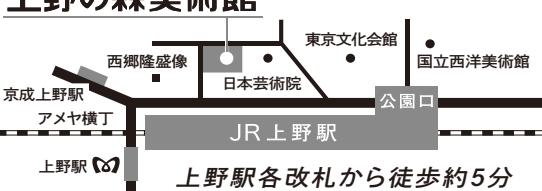
- ・欠席された場合の振り替え受講はできません。
- ・受講は申込者本人に限ります。18歳未満の方は保護者の同意が必要となります。
- ・貴重品はご自身で管理をお願いします。当スクールでは盗難、紛失、破損に対して一切の責任を負いかねます。
- ・館内・教室での物品販売、斡旋、勧誘、金品授受、営業等の行為は固くお断りします。
- ・講師への贈物等、お心遣いは無用です。金品の徴収はご遠慮ください。
- ・器物を破損させた場合は実費をもって賠償していただきます。また、故意と判断された場合は受講をお断りします。
- ・当スクールの備品等を外部に持ち出すことはできません（個人的な貸し出しはいたしません）。
- ・教室での飲食はできますが、入館の際、飲食物は袋等に入れてお持ちください。
- ・野外でのスケッチ講座等、カリキュラムに明記されている場合を除き、教室外での制作はできません。

次のような行為が認められた時は、受講のお断り、退会勧告をする場合がありますのでご留意ください。

- ・講座の運営に支障をきたす言動をした場合
- ・他の受講者や講師の迷惑となる行為、スタッフの業務の妨げとなる行為があった場合
- ・当スクールの協力依頼を正当な理由なく拒否または無視された場合
- ・「受講規定」(P.2~3)に反する言動を行った場合
- ・その他迷惑行為、法令または公序良俗に反する行為があった場合

（！） いただきました個人情報は上野の森美術館が管理し、当スクールの運営・実施および当美術館の資料や展覧会に関する通知に使用いたします。

上野の森美術館



◆お問い合わせ、お申し込み先、会場

台東区上野公園 1-2 上野の森美術館

上野の森アートスクール

TEL.03-5817-2810 FAX.03-3836-0066

ホームページ

<https://www.ueno-mori.org/artschool/>

上野の森アートスクール

検索

美術館本館 1階にアートスクール事務所がございます。

2026年 前期単発講座一覧

全24講座

〔 昼間 10:30～16:00
夜間 17:30～20:30 〕

講座8は11:00～16:00

★=初めての方優先講座：当スクールの講座を初めて受講される方は、最優先で受講できる講座です。

講座番号	開催日	講座名		講師	受講確定日
1	4/7,5/5,6/2,7/14	先着順	おとの月1 風景画入門 (全4日間)	遊馬 賢一	3/10
2	4/12,5/10,6/21,7/26		おとの月1 日本画入門 (全4日間)	平野 健太郎	
3	4/18,5/16,6/13,7/25	夜の会	おとの月1 知っておきたい美術解剖学 (全4日間) <small>NEW</small>	マスコ マユ	3/24
4	4/19,5/17,6/14,7/12		おとの月1 油彩講座 (全4日間)	大見 伸	
5	4/26,5/24,6/28,7/19	友の会	おとの月1 デッサン塾 (全4日間)	中尾 直貴	3/31
6	4/4,5/2,6/13, 7/11,8/8,9/12		おとの月1 夜の人物クロッキー塾 (全6日間) <small>夜間 SPECIAL</small>	村山 之都	3/10
7	4/18,5/16,6/27,7/25	先着順	おとの月1 描く人のための美術鑑賞学 (全4日間) <small>夜間 NEW SPECIAL</small>	佐藤 友則	3/24
8	4/21,5/19,6/23,7/28,9/8		おとの月1シリーズ特別講座 ボザール beaux-arts —内田あぐりゼミ— <small>SPECIAL</small>	内田 あぐり	
9	4/4 (土)	友の会	クロッキーとっくん	古山 浩一	3/10
10	4/5 (日)		なんでもない風景を描く	真鍋 修	
11	5/3(日),5/30 (土)	現代アートとは?現代画家から学ぶ抽象表現		坂口 竜太	3/31
12	5/2 (土)	1日集中鉛筆デッサン基礎講座—構図を学ぶ— ★		伊東 茂広	
13	5/7 (木)	透明水彩テクニック—スピード水彩① 静物編—		村山 之都	6/2
14	6/29 (月)	透明水彩テクニック—スピード水彩② 風景編—		村山 之都	
15	5/31 (日)	抽象のツボ4:「リズム」ずらす造形と感覚・心理		藤田 邦統	5/5
16	6/7 (日)	抽象のツボ5:「レイヤー」層構造とは		藤田 邦統	
17	6/28 (日)	抽象のツボ6:「地と図」反転する造形と心理		藤田 邦統	6/2
18	5/16 (土)	マニアックな日本画技法一方解末—		浦上 義昭	4/21
19	6/27,7/11 (土)	テンペラグラッサー ボッティエッリとミケランジェロの技法—		山田 啓貴	6/2
20	7/5 (日)	ゴッホから学ぶ構図とタッチ—デッサン— ★		大川 心平	6/9
21	8/2 (日)	ゴッホから学ぶ構造とヴァルール—色彩表現へ—		今井 陽子	7/7
22	9/6,9/13 (日)	友の会	絵画研究入門講座—画家の目—	川合 朋郎	8/11
23	9/20 (日)		半抽象・半具象のメソッド—立体感と平面性—	出射 茂	8/25
24	9/22 (火)	夜の会	内田あぐり+工藤丈輝 ムービング・ドローイング <small>SPECIAL</small>	内田 あぐり	

※ 講座6は、空席がある場合、途中からの受講可。

※ 講座6・7は夜間講座のため [17:30～20:30] になります。講座8は [11:00～16:00] になります。

油彩

NEW
美術解剖学

デッサン

NEW
美術鑑賞学

夜クロッキー

日本画

風景画

おとなの月1講座

① おとなの月1 風景画入門

遊馬 賢一先生

先着順

受講料：26,880円 定員：18名 時間：10:30～16:00

4
日間

画材自由 モチーフ：風景写真・スケッチ

受講確定日：3月10日（火）

風景をテーマにした4回の講座です。同じ風景を見ても、受けれる印象や表現は様々です。どのように風景をとらえ、構図を決定し、表現に結びつけると良いか？個々に合わせて、そのステップアップを目指します。今回は風景画の構造を学び、生かし、作品にしていきます。資料となる写真をご持参ください。画材は自由です。中級者の方はもちろん初心者の方にもお勧めの講座です。初めての方は1～4回を通して1つの作品を完成させてもかまいません。

第1回 4月7日（火） 写真から描く風景①—構図の決め方と描く手順—

描きたいポイントを生かす構図を考えます。写真は半歩動くと違う構図になるものです。写真をそのまま写すのではなく、トリミングすることでより良い構図を作ります。写真はお手本ではなく資料と考えましょう。支持体に構図を移す手順や、どこから描き始めると良いのかなど、画材と表現へのアドバイスをします。

《持ち物》 画材自由、使用する画材に合った紙やキャンバスF6～8号、30cm定規、筆記用具、写真資料（同じ場所を位置や角度を変えて撮影すると良いです。たくさんご持参ください。）

第2回 5月5日（火・祝） 写真から描く風景②—省略と単純化—

写真は細かい部分まで写っています。丁寧に見て描けば密度は出ますが、絵画性を高めるには省略や単純化が必要です。ポイントになる部分がどこか、それを生かすための省略や単純化です。画面を大きく見て構築性を考えます。風景の中に配置のバランスやリズムを意識してみましょう。意識が変わることで表現も変わります。

《持ち物》 画材自由、使用する画材に合った紙やキャンバスF6～8号、30cm定規、筆記用具、写真資料（身近な風景や旅行時の写真など、絵にしてみたいものをたくさんご持参ください。）

第3回 6月2日（火） 写真から描く風景③—中間色を生かした表現—

朝もやや霧の風景、夕方や雨の日の風景には、はっきりした色彩ではなく中間色の豊かな表情があります。細かなものも曖昧になります。その中間色をどう作るか、油彩や水彩の違い、調子のとらえ方と表現を学びます。

《持ち物》 画材自由、使用する画材に合った紙やキャンバスF6～8号、30cm定規、筆記用具、写真資料（霧やもやのかかった写真、夜明前や夕方含めいろいろな写真をご持参ください。）

第4回 7月14日（火） 写真から描く風景④—自由制作と行き詰った作品の添削—

自由制作を通じて、それぞれ表現力を高めましょう。絵にしたいと思っている写真やスケッチ資料等をお持ちください。また制作途中の作品でも構いません。今まで描いた作品、今後描きたい作品プランなどへのアドバイスも別途いたします（1人2点まで）。

《持ち物》 画材自由、使用する画材に合った紙やキャンバスF6～F10号、写真資料またはスケッチ、作品など。

おとの 月1

絵画初心者から経験者まで、幅広い方々からご好評いただいている「おとの月1シリーズ」に新しく「美術解剖学」と「美術鑑賞学」が仲間入り!! どの講座も、お申し込み殺到必至の人気講座なのでお早めのお申し込みをおすすめします。ぜひ、お見逃しのないようチェックしてくださいね!

② おとの月1 日本画入門 平野 健太郎 先着順

受講料：26,980円（画材代100円込※） 定員：18名 時間：10:30～16:00

4
日間

日本画 箔

受講確定日：3月10日（火）

日本画に箔を使ってみる！

日本画では昔から多く箔が用いられてきました。屏風に貼られた金箔や絵の上でキラキラ光る銀の粒を見たことがあると思います。箔は使ってみたいけれど貼り方が分からぬ！という方のために、基本的な箔の貼り方、そしていくつかの箔の使い方を紹介します。全4回の講座で、箔を使った作品を一点仕上げることを目指します。

第1回 4月12日（日） 下図作り

箔の貼り方、使い方をサンプルをもとに紹介します。実際に箔を貼る方法もお見せして、日本画のどこに使っていくのか考えながら小下図（エスキース）を描き、構図や制作手順を決めていきます。最後に箔とあかし紙の扱い方や日本画のために必要な画材や道具の説明をします。

《持ち物》 お好きなモチーフ（果物や花、写真やスケッチ等何でも良い）、デッサン用具（鉛筆HB～2B程度、練り消しゴム）、スケッチブック、またはクロッキー帳（下絵でも本画と同サイズが望ましい）

第2回 5月10日（日） 下塗り～マチエール作り

パネル張りをした和紙に実際に箔を貼っていきます。下絵が仕上がったらトレースをして日本画の絵の具を使い制作を始めます。箔の上に絵の具を塗るコツや、岩絵具の上に箔を貼る方法などのレクチャーを交えながら描き進めていきます。

《持ち物》 【前回講座で説明あり】日本画道具一式（岩絵具、水干絵具、筆、刷毛、絵皿、水差し、ドーサ液、墨、雑巾など）、パネル張りの雲肌麻紙（F6～10号程度）麻紙ボードでも可、前回描いた下図とそのコピー、マスキングテープ、赤いボールペン、チャコペーパー、箔を貼るための道具（銀箔、箔ばさみ、あかし紙）※膠の配布があります。箔ばさみは貸し出しあります。

★銀箔とあかし紙の当日販売があります（純銀箔20枚包1,050円、あかし紙20枚360円）

第3回 6月21日（日） 本画制作

本制作を進めます。個別指導を中心に、疑問や質問にもお答えしながら制作の手順や方向性などをアドバイスいたします。

《持ち物》 日本画道具一式、制作中の絵

第4回 7月26日（日） 本画制作～仕上げ、講評

完成に向けて制作します。全体のバランスを見たり、描き込みをしながら、絵の中で箔が生きているように、また、思い描いた絵に近づけるように仕上げていきます。今後の制作のヒントが得られるように、最後に講評をします。

《持ち物》 日本画道具一式、制作中の絵

◆準備していただく日本画画材に関しては、喜屋（TEL. 03-3831-8688）、世界堂本店（TEL. 03-5379-1111）などの画材店にてご購入お問い合わせください。



知って得する
知つトク! シリーズ

③おとなの月1 知っておきたい美術解剖学

マスコマユ先生

友の会限定

4
日間

受講料：28,230円（モデル代込） 定員：24名 時間：10:30～16:00

座学

解剖学

男性ヌード

受講確定日：3月24日（火）

— 人体を描くためにしくみを理解しよう —

人体をより正確に、そして生き生きと描くためには、形の裏にある構造を理解することが大切です。「美術解剖学」とは、医学的な解剖学を美術家の視点から学ぶ分野であり、骨と筋肉の構造を学ぶことで、人体への理解を深め、人体表現の基礎を築きます。ルネサンスの巨匠レオナルド・ダ・ヴィンチやミケランジェロも探究したように、人体の仕組みを知ることは、観察力と表現力を深める第一歩となります。

今回は初めて人体を学ぶ方にむけて、基本的な知識や代表的な骨・筋のみを取り上げます。座学は「寝てしまいそうで不安…」という方でも大丈夫。色を塗りながらの図解や、デッサンも取り入れます。手を動かしながら学ぶ内容となっておりますので、どなたでも楽しみながら取り組んでいただけます。まずは「自分のからだのしくみを知る」からはじめませんか？ご参加お待ちしております。

第1回 4月18日（土） からだの基礎と骨格

初めに解剖学の基礎知識についてレクチャーします。その後、人体を支える「骨格」、「骨」から学びを始めます。筋肉はすべて骨に付着しています。「骨」がわからないことには始まりません。骨格はいわば人体の土台であり、体を描くときの「ランドマーク」にもなります。まずはここからスタートします。骨格模型を用いたデッサンを挟みつつ、人体の全体像をつかみましょう。

第2回 5月16日（土） 体幹と腕・手の筋肉

人体表現をする上で、骨格と同様に重要なのは筋肉です。筋肉は数が多いため、2回に分けて学びます。今回は、体幹（背中・胸・腹部）と上肢（腕・手）の筋肉を学びます。有名な“腹直筋（シックスパック）”をはじめ、日常的に目にする筋肉ですが、皮膚の下でどうなっているのでしょうか？骨格との関係から理解し、前回学んだ骨とどうかかわるか、復習を交えつつ、人体の構造がどのように動きに反映されるかを考察します。

第3回 6月13日（土） 脚と顔の筋肉

前回の続きとなる脚の筋肉を学びます。下半身では、脚は太ももとふくらはぎで上下に分けて描いてしまいかですが、筋肉を知るつながりが見えてきます。そのつながりを知ることで、立つ・歩くといった動作の仕組みが見えてきます。後半は顔の表情やシワを作る筋肉たちに目を向けています。これまで学んできた筋肉と少し種類が違います。感情や個性を表すための観察ポイントも学びましょう。

第4回 7月25日（土） まとめと実践 — モデルデッサン

男性ヌード

午前中はこれまでの総まとめとして、学んだ骨や筋肉の位置を再確認します。解剖学は覚えて、忘れて…と、何度も繰り返し徐々に習得していくものなので、覚えていなくても大丈夫です。午後はモデルを描きます。実際の人体で、今まで習ってきた骨や筋肉を観察・確認し、自由にデッサンしてみましょう。講座を受ける前とは人体の見え方や気づくポイントが少し違うと思います。知識による観察力の向上を体感すること、理解が線に変わる、その実感こそが美術解剖学の魅力です。

《共通持ち物》

鉛筆（2H～2B程度）、色鉛筆12色程度（数色あればOK）、練り消しゴム、スケッチブックまたは画用紙、お持ちであればクロッキー帳

★第4回目はデッサンをするため、木炭または鉛筆のデッサン道具一式。着彩したい方は希望の着彩道具一式

おとの 月1

“油彩入門”から“油彩アトリエ”にリニューアル!
油彩初心者だけでなく、すでに油彩を描いている
ベテランの方にもおすすめの講座です。
月1ペースで油彩を学べるアトリエです。



④ おとの月1 油彩アトリエ 大見伸先生 先着順

受講料：30,880円（モデル代込） 定員：18名 時間：10:30～16:00

油彩 女性着衣

受講確定日：3月24日（火）

今回は、「色彩の使い方」に特化した4日間講座です。暖色・寒色・グレーなど、色彩の性質を知ることにより、色彩を自由に、また効果的に使いこなす方法を学びます。また、色彩を生かすために必要な下塗り効果の実験を通して、基礎的な知識の習得と今後の制作に活かす技術を学びます。初めて油彩を始められる方には、その都度個別に道具の使い方などを指導いたします。また、20号までの自由制作も可能です。

4
日間

第1回 4月19日（日）

色彩の使い方 暖色・寒色を知る〈静物〉

「暖色」と「寒色」の特徴を理解しながら、色の対比によって作品の印象を高める方法を学びます。暖色を主体にして寒色を効かせ色として添える構成、あるいは寒色を主体にして暖色をアクセントとして用いる構成のどちらかを選び、実際に制作します。暖色と寒色のコントラストが生み出す色彩効果を体験しながら、表現の幅を広げていきましょう。

第2回 5月17日（日）

色彩の使い方 グレーを知る〈風景〉

「グレーを制する者は美を制する」といわれるほど、グレーは色彩表現の鍵となる存在です。本講座では、グレーの魅力と役割を理解しながら、画面におけるリズムやバランス、秩序をどのように生み出すかを学びます。下塗り効果の実験を通して、グレーが持つ豊かな可能性を体験し、色彩表現の幅を広げていきましょう。

《第2回 持ち物》 各自のスケッチや写真などの資料

第3回 6月14日（日）

暖色・寒色・グレーを使った画面構成〈人物〉

これまで学んだ暖色・寒色・グレーの特性を生かし、人物表現へと発展させます。まず、水彩やパステルを用いてエスキースを2点制作し、色彩構成や画面の印象を検討します。その中から1点を選び、油彩で本制作に取り組みます。エスキースの段階で暖色・寒色・グレーの関係性を意識しながら作品のイメージを固め、下塗りの効果を実感していきましょう。色彩と人物表現が響き合う画面構成を目指します。

《第3回 持ち物》 下塗りしたキャンバス(6~10号)、スケッチブックまたはエスキース用画用紙(3~6号程度)

第4回 7月12日（日）

暖色・寒色・グレーを使った画面構成～仕上げ〈人物〉

前回から取り組んでいる人物作品を仕上げていきます。エスキースで検討した色彩計画を踏まえつつ、暖色・寒色・グレーのバランスを調整し、画面の統一感と深みを整えます。細部の描写や質感の表現、色の重ね方を確認しながら、作品全体の完成度を高めていきましょう。これまで学んだ色彩と構成の知識を統合し、作品を完成させましょう。

《第4回 持ち物》 第3回で描いた作品

《共通持ち物》

油彩道具一式、ペインティングオイル、テレピン（またはペトロール）、画用筆（小～中、10本程度）、ペインティングナイフ（中くらいのもの）、キャンバス（6~10号）、木炭・鉛筆（B~4B）、ガーゼ、ウエス（古布）
作品を持ち帰るための袋や合わせキャンバス等もご持参ください。

⑤おとなの月1デッサン塾 中尾直貴先生 | 友の会限定

受講料：28,880円（モデル代込） 定員：17名 時間：10:30～16:00

4
日間

木炭

鉛筆

女性ヌード

受講確定日：3月31日（火）

思いのままに、自由に絵を描きたいと思っていてもなかなかうまくいくものではありません。対象を写実的に描きたい、あるいは自分の感情など抽象的なものを表現したいなど、想いの実現のためにはいずれも「デッサン力」が必要になります。デッサン力とは、物をただ正確に描けるということだけではなく、モチーフの本質をとらえる眼差しと、それを説得力をもって立ち表すための画面上でのバランス感覚のことです。これを磨くためには高い意識をもってデッサンを継続することが重要です。これから絵を始めてみようという方から、長年続けているけれどもっと制作を深めていきたいという方まで、自由に表現するための土台を築くために今一度、「デッサン」をしてみましょう。

※当スクールYouTubeチャンネル【公式】にて「木炭の使い方、削り方」等公開しています。

第1回 4月26日（日） 石膏像デッサン

石膏像は古くからデッサンのモチーフとして親しまれています。身体の写実性と理想美を兼ね備えて表現された像をデッサンすることで、多くの学びが得られます。初日はデッサンについての講義、木炭デッサンの実演を行います。デッサンとは何かを考え、実践します。

《持ち物》木炭（伊研No.360ヤナギ丸軸をおすすめ）、木炭紙4枚（スクールにて販売）、練り消しゴム、ガーゼ（無ければ布でも可）、クロッキー帳、フィキサチーフ
※個人によって目的があればこれ以外でも可。初回に道具についての説明もします。

第2回 5月24日（日） 人体デッサン

女性ヌード

初回の石膏デッサンをふまえて、目の前にある生きた身体の有機的な曲線とボリューム、内なる躍動をとらえ、描いては消して見つめ直し、再び描き起こすといったモチーフとの豊かな対話を体験してほしいと思います。冒頭に講師による実演を行います。

《持ち物》木炭（伊研No.360ヤナギ丸軸をおすすめ）、木炭紙4枚、練り消しゴム、クロッキー帳
鉛筆の場合は2H～4B、木炭紙大の画用紙、ガーゼ（無ければ布でも可）、フィキサチーフ

第3回 6月28日（日） 静物デッサン

モチーフそれぞれのもつ色や形、大きさを画面のなかで探っていく過程で構図、関係性、空間を学びます。鉛筆や木炭等の素朴な画材で異なる質のものを描き分けるためには使い方に工夫が必要ですが、そうすることで水彩や油彩等の強い特性を持つ画材を使いこなす感性も磨かれます。はじめに実演を行います。

《持ち物》木炭（伊研No.360ヤナギ丸軸をおすすめ）、木炭紙4枚、練り消しゴム、クロッキー帳
鉛筆の場合は2H～4B、木炭紙大の画用紙、ガーゼ（無ければ布でも可）、フィキサチーフ

第4回 7月19日（日） 細密デッサン

一人一つ好きなモチーフを用意し、近くで観察し細密にデッサンします。これは「細密画」が目的ではありません。モチーフの質感、重さ、匂いまで確かめてもらい細かなところまで描写しようとして、深くまで対象をとらえる画家の眼を養います。

《持ち物》鉛筆、木炭、ペン等・画材に合わせた支持体。事前に説明します。

夜もおとなの月1

SPECIAL

⑥おとなの月1 夜の人物クロッキー塾 村山之都先生 友の会限定

受講料：37,620円（モデル代込） 定員：19名 時間：17:30～20:30

夜間

夜

6
日間

透明水彩 パステル コンテ 鉛筆 木炭

受講確定日：3月10日（火）

基本的な人体のとらえ方と描写を演習する全6回のクロッキー塾です。前回に引き続き国内外で活躍されているアーティスト、舞踏家の工藤丈輝さん、美ボディ・ボディメイク分野の長谷恵梨子さん、前衛舞踏デュオ86B210の鈴木富美恵さんといった、身体表現のエキスパートの方をモデルに、男性・女性それぞれの骨格と筋肉の描き方を存分に演習します。講座では毎回着目ポイントを設け、それについて講師が解説をしながら進めていきます。さらに今回は新たにムービング・クロッキーも行います。基本的な部分をしっかりと鍛えながら、創造（想像）力を刺激して絵画制作につながるクロッキー講座を目指しています。積極的にご参加ください。

※定員に空きがある場合、途中からでもご受講いただけます。

※モデルはやむを得ない事情で変更となる場合がございます。あらかじめご了承ください。

※友の会限定講座です。非会員の方は友の会にご入会いただきます。

第1回 4月4日（土） 正中線の動きを見る

男性セミナー

人体把握の中でも核になる要素が、正中線の動きです。顔・上体・腹部・腰の動きを、人体の中心線の流れを追いかがる観察します。

第2回 5月2日（土） トルソと手足の位置関係

男性セミナー

人体の中心部分であるトルソと、手足の位置関係に注目しながら動きを追いかけます。「単純化した構造とアウトラインのリズムを見る」という二つの視点を同時に試みます。

第3回 6月13日（土） 実践—アウトラインのシルエット的解釈—

女性セミナー

画材は自由ですが、講師は水彩でデモンストレーションを行います。興味がある方はご持参ください。

第4回 7月11日（土） 実践—自由画材—

女性セミナー

前回までの内容を踏まえた実践クロッキー回です。10分、5分を織り交ぜます。

第5回 8月8日（土） 実践—自由画材—

女性セミナー

前回までの内容を踏まえた実践クロッキー回です。5分、3分を織り交ぜます。

第6回 9月12日（土） ムーブ&ストップ

女性セミナー

ムービング→動きを止めて3分ポーズ→ムービング、を繰り返します。

《共通持ち物》

鉛筆（6B～10B程度）、カッター、クロッキー帳（B3サイズまたは10号以上推奨）

※鉛筆クロッキーを想定していますが、コンテ・木炭・水彩などの画材も使用可。



知って得する
知識トク! シリーズ

SPECIAL

⑦おとなの月1描く人のための美術鑑賞学 佐藤友則先生 先着順

受講料：19,000円 定員：24名 時間：17:30~20:30

夜間

夜 4
日間

座学

鑑賞

受講確定日：3月24日（火）

—名画を“感じる”から“理解する”へ—

絵を“感じる”だけでは、まだ見えていない世界があります。構図、色、光、筆の動き——その一つひとつに、名画が名画である理由が隠されています。この講座は、作品を感情ではなく目と頭で読むための鑑賞学講座です。「なぜ美しいのか」「なぜ心を動かすのか」「どう描かれているのか」を、わかりやすく、美しい作品画像と共に具体的に紐解きます。そして鑑賞を通して描く目を育てることが目的です。感性を大切にしながらも、理論と観察によって作品を理解する——美術のもう一つの楽しみ方です。絵を描く方々には特にお勧めしたい内容で、今よりも作品レベルを一段階アップさせたい人へのメッセージに富んだ鑑賞講座です。

第1回 4月18日（土） 知っておきたい絵画の見方

ヨーロッパ絵画がどのように生まれ、どのような思想や価値観のもとで発展してきたのかをたどりながら、その流れの中で近代に芽生えた「表現するはどういうことか」という問いの始まりを読み解きます。

名画の構成や描かれ方を通して、絵画が“写すもの”から“表すもの”へと変化していった道筋を読み解きます。

- ①画家が絵具に託すこと／②画家は最初に何をしようとしたのか？／③“見えないもの”を“見えるもの”にする
- ④絵画の危機が来た！／⑤“絵画とは何か？”との問いかけから生まれる“表現”

第2回 5月16日（土） 制作を司る、3つの絵画プログラムを考えてみる

先人が考案してきた油絵具の操作方法は、大別すれば三種に集約できます。世の中にたくさん存在する全ての名画の制作プロセスは、その原理に沿ったもの、もしくは応用から成り立っています。ご自身の制作の在り方を改めて考えるきっかけとなる講義です。

- ①原点となる3つの絵画／②グリザイユ & グラッシ／③カマイユ／④アラ・プリマ／⑤まとめ

第3回 6月27日（土） クロード・モネについて

日本人に大人気な印象派、その中の代表格であるクロード・モネに焦点を当て、彼の絵画上の革新性と功績をたどります。単に「美しい」という形容以上の価値観を、共に考えながらお伝えします。

- ①印象派出現の背景／②連作の画家、モネ／③モネ自身の言葉／
- ④ジヴェルニーの庭（日本の太鼓橋と睡蓮）／⑤“自然”とは何か？その後への影響、2つの絵画の類似と相違

第4回 7月25日（土） フィンセント・ファン・ゴッホについて

日本でも広く愛されてきた画家ゴッホをテーマにしたレクチャーです。ゴッホは数多くの日記や書簡を残し、書籍や批評でも語られる機会が多い芸術家ですが、その作品は言葉以上に雄弁です。「大ゴッホ展」開催に合わせて、本講座ではその造形上の秘訣を分析しながら、作品の魅力に迫ります。

- ①勤勉な人／②逸脱の形式／③印象派への不満／④絵画上で“感情”を表現することとは？／⑤画家自身にとっての“会心の絵”／⑥色彩研究と“色を作る”こと／⑦“平板”と“平板的”的違

《共通持ち物》 筆記用具



特別講座

おとなの月1シリーズ

ボザール beaux-arts 内田あぐりゼミ



日本画の古典的な技法に精通し、実際に用いて研究すると共に、さまざまな手法を取り入れ、新たな表現方法にもチャレンジし続ける内田あぐり先生を講師に迎え、スペシャルゼミを開催します。今回は日本画はもちろん、油彩、水彩と画材を問わず受講可能です。
※友の会限定・抽選講座です。非会員の方は友の会にご入会いただきます。

⑧ おとなの月1特別講座 ボザール beaux-artsー内田あぐりゼミー

抽選

5
日間

受講料：35,600円（モデル代込）定員：16名 時間：11:00～16:00 内田あぐり先生 友の会限定

画材自由 ゼミ 男性ヌード

受講確定日：3月24日（火）

第1回 4月21日（火） 「イメージデッサンを練る」

使用画材によるグループ分けをします。これまでの制作の一端がわかるもの（デッサンやエスキース、ポートフォリオなど）を資料としてご持参ください。内田流“絵画表現”や、一貫して身体、人間の存在を示すものを探求しテーマとしていることについて、歴史を追って語っていただきます。また「素描すること」について、さらに具体的な制作の過程など解説を交えながらお話しいただける貴重な機会です。作家・内田あぐりのエネルギーの根源を感じ取っていただける1日です。

《持ち物》ポートフォリオ、これまでのデッサン・素描、エスキース、クロッキー帳またはスケッチブック、筆記用具、使用画材は任意でご持参ください。

第2回 5月19日（火） ムービング・ドローイング「動と静—人間を描く」

午前中、ムービング・ドローイングについて説明します。午後から国内外で活躍中の舞踏家の工藤丈輝さんをモデルに迎え、パフォーマンスを行っていただき、舞踏家の生き生きと動く体と顔を自由に描くことにチャレンジします。内田先生は実際にモデルを前にして多くのドローイングを行うことで、作品のイメージを生み出しています。先生と一緒に実践してみましょう。

《持ち物》筆記用具、クロッキー帳またはスケッチブック、ドローイングの画材は自由（木炭、鉛筆、ペン、水彩、墨など）

第3回 6月23日（火）

第4回 7月28日（火）

第5回 9月8日（火）

実技—「制作の現場で」①②③：内田先生による直接指導

30号までのサイズの個別制作を指導します。制作途中の作品を完成に向けて進めていただいてもOKです。内田先生との対話の中から方向性を検討、制作に反映させていきます。「つくること・表現すること」の本質を作家と直接触れ合うことで感じ取る場です。この機会を大いに活用し、制作に、表現の探求に生かしていただければと思います。最終日は前半を制作、後半は全体講評会を行います。

《第3～5回 共通持ち物》

筆記用具、クロッキー帳またはスケッチブック、使用する画材一式、画材にあった支持体、完成に向けて加筆する場合は制作途中の作品、制作に必要な資料（ポートフォリオや写真資料）等

※日本画制作の場合は膠以外の画材は全てご自身でご用意ください（膠代100円を別途いただきます）。

※持参する画材および作品サイズを申込書にご記入ください。

【以下内容をご了承の上お申込みください】

アトリエに持ち込む作品数は1点です（額を付けていないもの）。また、作品や道具をアトリエに置いておくことはできません。作品の運送・返送はご自身で手配してください。ご希望の場合は運送業者をご紹介いたします。

⑨ クロッキーとっくん 古山 浩一 先生 友の会限定

1
日

4月4日（土）受講料：8,720円（モデル代込）定員：18名 時間：10:30~16:00

透明水彩 鉛筆 女性ヌード

受講確定日：3月10日（火）

絵画は面と線と色彩で成り立っています。線を勉強する・鍛えるにはクロッキーが一番です。本講座では裸婦5分ポーズ32回、2分ポーズ10回でクロッキーを42枚描きます。確実に線が変わります。始めに10Bの鉛筆の使い方をレクチャーします。慣れた画材が良い方はそれらの画材をお持ちください。ポーズは短時間ですが着彩をご希望の方は着彩道具をお持ちください。

《持ち物》 クロッキー帳（F6号以上）、画用紙（B3サイズ1枚25円販売あり）、鉛筆（10B）5本程度、水彩・色鉛筆など着彩用具 ※友の会限定講座です。非会員の方は友の会にご入会いただけます。

⑩ なんでもない情景を描く 真鍋 修 先生

1
日

4月5日（日）受講料：6,720円 定員：18名 時間：10:30~16:00

アクリル 透明水彩 不透明水彩 鉛筆 パステル モチーフ：写真

受講確定日：3月10日（火）

私たちはつい、「絵になるもの」を探してしまいます。「絵になる情景」を探すのではなく、「絵にならないような情景（シチュエーション）」を描いてみませんか？普段見慣れた何気ない日常の一場面でも、絵にしてみることで思いがけない美しさや意味が浮かび上がることがあります。参加者の皆さんに写真などを持ち寄っていただき、それぞれの「なんでもない情景」をどのように描き、絵にしていくかを共に考え、講師がアドバイスします。新しい視点で「描くこと」を見つめ直してみましょう。ご自身の作品の幅が広がると思います。

《持ち物》 水彩道具一式、白のガッシュ（チューブ）、パステル、鉛筆、練り消しゴム、スケッチブック（F6号）雑巾 ※当日画用紙の購入も可能です（B3サイズ1枚50円）

キャンバスサイズ

号	F サイズ（人物）	P サイズ（風景）	M サイズ（海景）	S サイズ（正方形）
SM	227 × 158	—	—	—
6	410 × 318	410 × 273	410 × 242	410 × 410
8	455 × 380	455 × 333	455 × 273	455 × 455
10	530 × 455	530 × 410	530 × 333	530 × 530
12	606 × 500	606 × 455	606 × 410	606 × 606
15	652 × 530	652 × 500	652 × 455	652 × 652
20	727 × 606	727 × 530	727 × 500	727 × 727
25	803 × 652	803 × 606	803 × 530	803 × 803
30	910 × 727	910 × 652	910 × 606	910 × 910
40	1000 × 803	1000 × 727	1000 × 652	1000 × 1000
50	1167 × 910	1167 × 803	1167 × 727	1167 × 1167
60	1303 × 970	1303 × 894	1303 × 803	1303 × 1303
80	1455 × 1120	1455 × 970	1455 × 894	1455 × 1455
100	1620 × 1303	1620 × 1120	1620 × 970	1620 × 1620

(mm)

現代アートとは?

— 画家に学ぶアートのヒント —



⑪ 現代画家から学ぶ抽象表現 坂口 竜太 先生

受講料：15,440 円（モデル代込） 定員：18 名 時間：10:30～16:00

2
日間

油彩 アクリル モチーフ：写真資料 男性着衣

受講確定日：3月 31 日（火）

絵を見た時に「この絵はどうやって描かれたんだろう」と気になったことはありませんか？基本、画家はその描き方や手法についてあまり話しません。しかし、例えば古典技法の描き方が現在かなりわかつたことや、印象派の絵の描き方が筆触分割であるという事が解き明かされている様に、研究することでわかることもあります。本講座は様々な画家の描き方、手法を研究実践してきた講師が主に現代に活躍する画家に焦点をあて、その作品がどの様に描かれているかを解説し皆さんの制作に積極的に取り入れていく講座です（模写ではありません）。言ってみれば古典絵画技法講座の現代絵画版です。ただし、技法演習が主ではなく、あくまで普段の絵画制作に生かしていく実践講座です。受講することで画家の描き方、手法が学べ、絵画表現の新しい扉を開くことになるかもしれません。今回は、ヘルナン・バスという画家を参考にして制作します。

※ヘルナン・バス Hernan Bas

1978年フロリダ州マイアミ生まれ。アメリカ国内をはじめ、ヨーロッパやアジアなどで国際的に活動している。

第1回 5月 3 日（日） 詩的な世界のつくりかた—ヘルナン・バス① 抽象編—

ヘルナン・バスは、象徴主義や19世紀後半の退廃的な文学作品から深い影響を受け、昆虫や無表情な男性などをモチーフに、物語性に満ちた独自の世界を描いています。抽象性と具象性が交錯する詩的な表現を参考に、自分自身の感覚で「物語を感じさせる魅力的な絵」を描く方法を実践していきます。1日目は風景を抽象的表現で背景として描いていきます。屋内・屋外どちらでもいいです。資料となるもの、風景（森や木が映り込んだもの）や屋内・屋外の写真、インテリア雑誌等をご持参ください。

《持ち物》 アクリル推奨。油彩との併用も可。画用紙（八つ切り画用紙）または、キャンバス（F10～15号サイズ）、クロッキー帳またはエスキース帳、（6号前後）、ウエス、カッター、ハサミ、マスキングテープ（幅12mm～24mm程度）、油彩道具またはアクリル道具一式、写真資料→風景（木や森が写り込んだもの）・屋外・屋内・インテリア雑誌など

第2回 5月 30 日（土） 詩的な世界のつくりかた—ヘルナン・バス② 具象編—

男性モデルを描きます。前回描いた抽象的背景の上に、実際の人物を重ねることで、抽象と具象の融合を探ります。構図や色彩の関係性を学びながら、現代アートの表現手法のひとつとして「サンプリング（既存の要素を創造的に再利用する）」を実践的に取り入れていきます。抽象表現と具象表現を組み合わせ、詩的な世界へと昇華させるプロセスは、日々の制作にも新たな視点をもたらすでしょう。

《持ち物》 アクリル推奨。油彩との併用も可。画用紙（八つ切り画用紙）または、キャンバス（F10～15号サイズ）、クロッキー帳またはエスキース帳、（6号前後）、ウエス、カッター、ハサミ、マスキングテープ（幅12mm～24mm程度）、油彩道具またはアクリル道具一式

⑫ 1日集中鉛筆デッサン 基礎講座—構図を学ぶ— ★ 伊東 茂広 先生

1
日

5月2日（土） 受講料：6,720円 定員：18名 時間：10:30~16:00

鉛筆 モチーフ：静物

受講確定日：3月31日（火）

本講座では、マチスやセザンヌなどの名画を例に構図の特徴と役割を解説したあと、静物モチーフを用いて鉛筆デッサンを行います。構図から感じ取る印象の違いを学びながら、空間のとらえ方やモチーフのボリュームを描くための基本を実習で身につけていきます。これから絵画制作をより豊かにするための、基礎力を養う講座です。

《持ち物》 鉛筆（2B、4B）、ガーゼ、練り消しゴム、画用紙（F10号程度）

⑬ 透明水彩テクニック—スピード水彩① 静物編— 村山 之都 先生

1
日

5月7日（木） 受講料：6,720円 定員：18名 時間：10:30~16:00

透明水彩 モチーフ：静物 ※平日開催

受講確定日：3月31日（火）

明るい部分と暗い部分を意識的に分けて描き、モチーフの立体感を効果的につかみます。光と影を整理して観察することで複雑な形も的確にとらえられ、描写のスピードも格段に向上します。本講座では静物を題材にします。明暗を軸とした観察法から形の簡略化、描き出しからトーンの置き方まで、スピード一に描くプロセスを学び、実践的な表現力へつなげていきましょう。

《持ち物》 透明水彩道具一式、鉛筆（H~HB程度）、練り消しゴム、ティッシュペーパー、ウォーターフォードやアルシュなどのコットンスケッチブック（ブロックタイプF4号度）

⑭ 透明水彩テクニック—スピード水彩② 風景編— 村山 之都 先生

1
日

6月29日（月） 受講料：6,720円 定員：18名 時間：10:30~16:00

透明水彩 モチーフ：風景写真 ※平日開催

受講確定日：6月2日（火）

光と影のコントラストを意識して描き分けるスピード描写の風景編です。自然の風景に加え、荷車や井戸など人の手による小物をモチーフにします。明暗を整理して観察することで複雑な景色を単純化して捉え、全体像を短時間で描き出す感覚をつかんでいきましょう。講座では遠近や奥行きを意識しながら構図の決め方や描き出しなどを体験し、風景の豊かな表現を習得します。

《持ち物》 透明水彩道具一式、鉛筆（H~HB程度）、練り消しゴム、ティッシュペーパー、ウォーターフォードやアルシュなどのコットンスケッチブック（ブロックタイプF4号度）、モチーフの風景写真はスクールで用意します。

ホームページでは、こんな感じで各画材の一式を写真付きで紹介しているよ！ぜひ参考にしてみてね！
木炭や鉛筆の削り方の動画もチェックしてね！



上野の森アートスクール公式 youtube



木炭デッサン

- | |
|-----------------|
| ● 木炭（ヤナギなど） |
| ● 練り消しゴム |
| ● 押せ |
| ● ガーゼ |
| ● 木板紙 |
| ● カルドン |
| ● 木炭トング |
| ● カーボーナップ |
| ● フィックスチーク（定着液） |
| ● デスクタオル |
| ● はかり棒 |
| ● 忍波さ柳 |
| ● 下敷き用木炭紙（2～4枚） |
- その他



抽象絵画は、突然出現したわけではありません。古典の名画を見れば分かるように、作品に対する作者の感覚の置き換えは、身体表現として作品のディティールに存分に表れています。つまり抽象表現ということです。抽象表現を含む現代絵画は、まさに古典と抽象・写実と感覚のハイブリットで構成されています。そこで、現代絵画の始まり、キュビズムから今に至る造形システムのポイントを押さえて、絵画に効く造形のツボを刺激してみます。

※「抽象のツボ」は前期3回、後期3回のシリーズとなります。

1講座からご受講可能ですが、多くご受講いただくことで抽象への理解をより深めていただけます。

⑯ 抽象のツボ 4：「リズム」ズラす造形と感覚・心理 藤田 邦統 先生

1
日

5月31日（日）受講料：6,720円 定員：20名 時間：10:30~16:00

鉛筆 アクリル 木炭

受講確定日：5月5日（火）

リズムとは、同様な現象が周期的に反復することで生じる心理です。規則的なくくり返しを作る画面にイレギュラーなリズムを取り込んでみると、画面にどんな変化が生じるか実験してみます。リズムを作つてからズラすことで生まれる空間とは？平面の型を使って色と形のリズムをつくり、形と色の変化でズレる空間を作ります。

《持ち物》 アクリル道具一式、木炭、鉛筆、白ジェッソ ※木炭紙大白ボール紙の販売あり（1枚 150円）

⑰ 抽象のツボ 5：「レイヤー」層構造とは 藤田 邦統 先生

1
日

6月7日（日）受講料：6,720円 定員：20名 時間：10:30~16:00

鉛筆 アクリル 木炭

受講確定日：5月5日（火）

レイヤーとは、異なる風景（色・形・線）がいくつか重なって層が作られます。そしてできるのが風景・空間です。表象から深層を見ることによって、どんな心理的効果をもたらすのか？下層・中層・表層の3層に分けて、重ねる画面を作つてみます。

《持ち物》 アクリル道具一式、木炭、鉛筆、白ジェッソ ※木炭紙大白ボール紙の販売あり（1枚 150円）

⑱ 抽象のツボ 6：「地と図」反転する造形と心理 藤田 邦統 先生

1
日

6月28日（日）受講料：6,720円 定員：20名 時間：10:30~16:00

鉛筆 アクリル 木炭

受講確定日：6月2日（火）

地とは、形を持たない抽象的な奥行き・広がりです。図とは、具体的な形を持つ図柄です。奥行きを作る地と、形を持つ図。その関係を反転させるプロセスを体験します。見え方が逆転する心理とは？抽象絵画が持つ平面の空間の造形手法のひとつです。

《持ち物》 アクリル道具一式、木炭、鉛筆、白ジェッソ、絵皿・紙皿（絵の具を塗る際に使うので深めのもの）
刷毛（できればナイロン5cm巾程度） ※木炭紙大白ボール紙の販売あり（1枚 150円）

⑯ マニアックな日本画技法 一 ほう かい まつ 方解末

浦上 義昭 先生

5月 16日（土）受講料：7,220円（画材代 500円込）定員：18名 時間：10:30~16:00

1
日

日本画

受講確定日：4月 21日（火）

日本画には、知っていると表現の幅が大きく広がる技法が数多くあります。展覧会で作品を見たとき、「これはどうやって描いているのだろう?」と疑問に感じたことのある方も多いでしょう。今回は画面にアクセントをつくるための大変な素材「方解末」の使い方を紹介します。方解末の適切な使い方で絵の深さや強さが違ってきます。他に「絵具を流す」、「粗い絵具を塗るのではなく振りかける」など、特殊技法を実演しながら解説します。実際の工程を見て、触れて学べるので初めての方でも理解しやすい内容です。日本画表現の奥深さに触れてみましょう。

《持ち物》 麻紙を水張りした F6号パネル、水干、岩絵具、水入、布、筆、刷毛、絵皿、モチーフとしてお手本を用意しますが自分で描きたいモチーフがあれば持ってきてください。
※今まで描いた作品、または今後描きたい作品プランへのアドバイスも別途いたします。
※当日、下地の配布があります。
※麻紙ボードや筆の当日販売もあります（麻紙ボード F6号1枚 2,420円）

◆準備していただく日本画画材に関しては、喜屋（TEL. 03-3831-8688）、世界堂本店（TEL. 03-5379-1111）などの画材店にてご購入お問い合わせください。

⑰ テンペラグラッサー ボッティチェッリとミケランジェロの技法

山田 啓貴 先生

2
日

6月 27日（土）7月 11日（土）受講料：13,740円（画材代 300円込）定員：18名 時間：10:30~16:00

油彩

受講確定日：6月 2日（火）

テンペラ・グラッサは、卵黄を主成分とするテンペラに少量の油を混ぜた絵具で、油絵具ともテンペラとも異なる透明感と深みのある発色が特徴です。ルネサンスの画家ボッティチェッリは、この技法を用いて「プリマヴェーラ」などに見られる繊細な光と色の調和を表現しました。ミケランジェロの「聖家族」にも、その技法が受け継がれています。本講座では、テンペラ・グラッサの特徴と制作工程を学びながら、その発色や重ね塗りの効果を体験します。モチーフとなる描きたいものの写真をご持参ください。古典技法の理解を通して、現代の制作にも応用できる表現の可能性を探っていきます。

《持ち物》 鶏卵（全卵）一個を割り入れたガラス瓶、ウエス、パレット、パレットナイフ、水彩筆（コリンスキーモの2号が望ましい）、柔らかめのフィルバート筆数（6~10号程度）、鉛筆（メモ、下書き用）顔料（ローシエンナ、テールベルトその他好きな色）、リンシードオイル、F8号シナベニヤパネル表面の板に継ぎ目のないもの推奨、エプロン、モチーフとなる写真。模写も可。
※F8号 MDFボード先着9枚限定で販売あり。希望者は申込書にチェックをしてください。

上野の森アートスクールは X、LINE、YouTube、ブログで情報を発信しています。

それぞれ、「上野の森アートスクール」と検索すれば出てきますよ！

まずはホームページにアクセス！

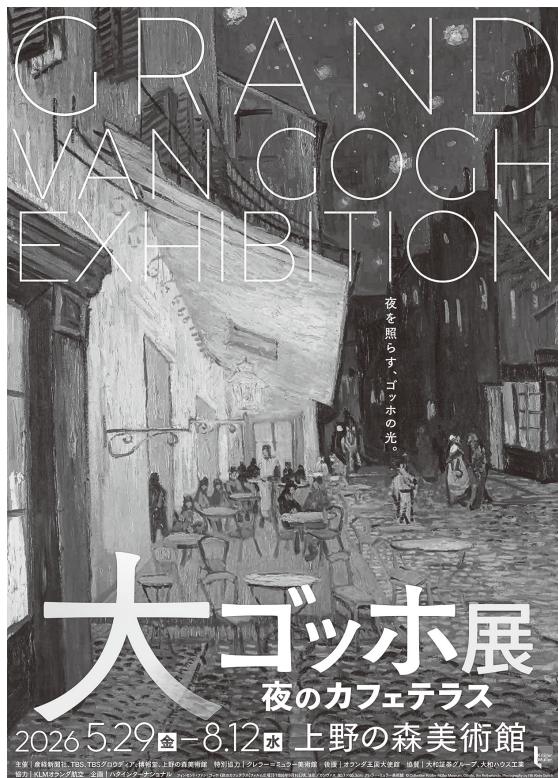


公式
ホームページ



LINE





上野の森美術館 5/29～8/12 開催

大ゴッホ展 夜のカフェテラス

関連特別講座

私の故郷オランダにある
クレラー・ミュラー美術館は、
私の作品が多数
所蔵されていることで知
られています。今回の展
覧会にあわせて、私か
ら学ぶ2つの講座を開
催します。

ぜひご参加ください。



⑩ ゴッホから学ぶ構図とタッチ—デッサン—

大川 心平 先生 ★

1
日

7月5日（日）受講料：6,720円 定員：18名 時間：10:30～16:00

鉛筆

モチーフ：風景写真

受講確定日：6月9日（火）

オランダの画家フィンセント・ファン・ゴッホは、鮮烈な色彩と力強いタッチで知られています。一見すると感情の赴くままに描いているように見えますが、数多く残されたゴッホの素描からは実際にはかなり意識的に空間やタッチの組み立てを考え抜いていたことが分かります。本講座では、彼のデッサンを参考にしながら、鉛筆を使って線の強弱や方向を意識した描写を演習していきます。彼の作品の内容に実感を持つことと、自らの制作にそれを生かすことを目標とします。ゴッホの観察と工夫を手がかりに、鉛筆デッサンの表現を深めていきましょう。

《持ち物》 鉛筆（2H、HB、2B、4B）、練り消しゴム、紙やすり、プラスチック消しゴム、カッター、風景の写真（自分で描きたい場所がなければスクールにて用意したものを探く）

⑪ ゴッホから学ぶ構造とヴァルール—色彩表現へ— 今井 陽子 先生

1
日

8月2日（日）受講料：7,040円（画材代320円込）定員：18名 時間：10:30～16:00

鉛筆

パステル

受講確定日：7月7日（火）

モノトーンのデッサンから色彩表現へと進むとき、色を使って立体感や空間を表すことに戸惑うことがあります。ゴッホは油絵にとりかかる前に、短い線や点描を重ねながら構造的なデッサンを行い、画面のリズムや明暗の関係（ヴァルール）を緻密に構築していました。本講座ではその制作プロセスを参考に、オイルパステルを用いて「線から色へ」と移行する体験を行います。最初に選ぶ色数や塗り重ね方には、それぞれの個性が表れます。デッサンを通して培った構造的理解を色彩に生かし、表現の幅を広げていきましょう。

《持ち物》 キャンバスボードまたはブロックタイプのスケッチブック（F8号程度）、鉛筆（2B～4B）、カッター、練り消しゴム、オイルパステル（好みの色をバラ売りで購入しても可）、ウエス、A4サイズに印刷した過去の自作の写真（なければ好みの風景写真でも可）
※スケッチングペンシル1本、B3画用紙1枚を当日配布します。

絵画研究入門

「絵画研究入門」は、観察力を養っていくための講座です。
毎回違った「視点」の課題に取り組みます。「観察力」は経験に関わらず必要な力です。
初心者はもちろん、経験者・熟練者の方にもおすすめの講座です。



㉚ 絵画研究入門講座－画家の目－ 川合 朋郎 先生 友の会限定

受講料：15,440円（モデル代込） 定員：18名 時間：10:30～16:00

2
日間

コラージュ 女性ヌード

受講確定日：8月11日（火）

絵画制作における基礎であり根幹となる「ものを見る目」「画面を見る目」を鍛え、培うことを目的とした講座シリーズです。観察力とは、物事の状況を注意深く見る力、“気づく”ことです。すなわち、この観察眼が絵画を制作する上で重要であることを自覚することが第一歩となります。人は自分の認識フィルターを通してしか世界を見ることができません。自分が認識した事物が自分の世界となり、その世界の中で考え、判断し、行動します。観察眼を養うことはあなたの世界を広げることとなります。

※友の会限定講座です。非会員の方は友の会に入会いただきます。

第1回 9月6日（日） パピエ・コレ～空間をとらえる～

女性ヌード

モデルとモチーフを前にして、筆や絵具といった画材で当たり前のようにに行っている描く行為を、パピエ・コレ技法で行います。簡単に言うと、絵具の代わりに紙をつかってデッサン！です。初回は大きい形からとらえて空間を把握していきましょう。ちぎって貼って、すべて手作業で行います。モチーフの形、色、質感や位置関係を理解する事が重要です。絵画制作の仕事をひとつひとつ改めて認識することができます。

※事前に好きな色、濃い、薄い、鈍い、鮮やか、など色の幅を豊富に集めておいてください。柄があるものも可。切って貼るための紙を集めることからこの講座はスタートします。

第2回 9月13日（日） 画面との対話～手段としてのパピエ・コレ～

モチーフとの対話、画面との対話に重点をおいていきます。ここでもその手段としてパピエ・コレを用います。不慣れなものを使う不自由さの中に、見ることと行うことの難しさを再確認します。モデルだけでなく、画面をよく見ることで次の仕事を認識する→行う→確認することを繰り返し行います。リアリティを追求していきましょう。新しい発見や感覚を得るきっかけとなり、習慣や惰性から脱却する講座です。

《共通持ち物》

絵の具は一切使いません。和洋問わず多種多様な紙素材（切って貼れるもの、布等も可）をたくさんご持参ください（包装紙、雑誌切り抜き、販売されている色紙等）。糸、接着剤（木工用ボンド、アクリルメディアムなど）、ペインティングナイフ（接着剤塗布用）、エスキース用のクロッキー帳、筆記用具※黄ボールボードの販売あり（1枚150円）。

㉓ 半抽象・半具象のメソッド—立体感と平面性— 出射 茂先生

1
日

9月20日(日) 受講料:6,720円 定員:18名 時間:10:30~16:00

油彩 不透明水彩 アクリル モチーフ:静物・写真

受講確定日:8月25日(火)

空間表現は「空間をどう扱うか」という方法であり、必ずしも立体的に描くことを意味しません。実際、平面性を重視しながらも、豊かな絵画空間を成立させている作品は多くあります。フランスの画家ニコラ・ド・スター、ピエール・ボンコンパンを参考例に挙げながら、その平面性の魅力の秘密を探ります。立体感と平面性の必然に迫ります。

《持ち物》 油彩・ガッシュ・アクリル絵具などの着彩道具一式(アクリルが好ましい)、画材に合わせた支持体(F10号キャンバス・ボード・スケッチブック・厚紙など)

SPECIAL

㉔ 内田あぐり+工藤丈輝 ムービング・ドローイング 内田 あぐり先生 友の会限定

1
日

9月22日(火) 受講料:8,720円(モデル代込) 定員:18名 時間:10:30~16:00

鉛筆 着彩画材自由 男性ヌード

受講確定日:8月25日(火)

動いているモデルを描くためには、静止しているポーズとは別の観察力・集中力が必要です。国内外で活躍中の舞踏家の工藤丈輝さんをモデルに迎え、舞踏家の動く体と顔を「動と静一人間を描く」というテーマで描くことにチャレンジします。内田先生は実際にモデルを前にして多くのドローイングを行うことで、作品のイメージを生み出しています。先生と一緒に実践してみましょう。

午前	10:30~ (※時間厳守) 上野の森アートスクールアトリエ 集合 講師による説明とデモンストレーション	午後 12:30~15:30 ムービング・ドローイング 講評会 15:30~
----	---	--

《持ち物》 筆記用具、クロッキー帳またはスケッチブック、ドローイングの画材は自由(木炭、鉛筆、ペン、水彩、墨、新鳥の子紙など) ※友の会限定講座です。非会員の方は友の会にご入会いただきます。机や椅子を使わずに床で描きますのでシートや新聞紙などをご持参ください。

◆スクール通常販売画材◆

画用紙	サンフラワー M 画 木炭紙大 (652 x 500 mm)	¥150
	サンフラワー M 画 B3 サイズ (515 x 364 mm)	¥50
B3 薄口画用紙		¥25
木炭紙	MBM 木炭紙	¥470
	キャンソン木炭紙	¥350
木炭セット	伊研木炭 №360(柳)丸軸 + ガーゼ	¥500
練り消しゴム	ターレンス イレーザー	¥150
クロッキー帳	ミューズクロッキーB3サイズ	¥1,450
万年筆セット	セーラーふで DE まんねん	¥1,500
	セーラー万年筆用コンバーター	¥700
	プラチナ万年筆 顔料インク(黒)	¥1,700

※メーカー・価格は変更になることがあります。

※教室での当日販売も含め、お支払い方法は現金のみの取り扱いとなります。

もれなくご記入ください

単発講座申込書

2026年前期

ふりがな お名前		どちらかに○を付けてください 友の会会員・一般	
生年月日 西暦 年 月 日		友の会入会(新規・期限切れ)希望の方は□を入れてください→	
〒 ご住所		郵送希望 お支払いについて郵送のコンビニ専用払込用紙をご希望の方は□を入れてください。別途手数料300円いただきます。→	
E-メール 新規申込、およびEメール変更の方はご記入ください。Eメール登録済の方はこちらに□を入れることで、記入の省略が可能です→			
FAX番号 - - -		電話番号 - - -	

頂きました個人情報は上野の森美術館が管理し、当スクールの運営・実施に関する通知に使用いたします。

▼受講希望の講座番号を○で囲み、FAX、または郵送でお申し込みください。

講座番号	開催日	講座名	講師	
1	4/7,5/5,6/2,7/14 <small>先着順</small>	おとの月1 風景画入門(全4日間)	遊馬 賢一	
2	4/12,5/10,6/21,7/26	おとの月1 日本画入門(全4日間)	平野 健太郎	
3	4/18,5/16,6/13,7/25 <small>友の会</small>	おとの月1 知っておきたい美術解剖学(全4日間) <small>NEW</small>	マスコ マユ	
4	4/19,5/17,6/14,7/12 <small>先着順</small>	おとの月1 油彩講座(全4日間)	大見 伸	
5	4/26,5/24,6/28,7/19 <small>友の会</small>	おとの月1 デッサン塾(全4日間)	中尾 直貴	
6	4/4,5/2,6/13, 7/11,8/8,9/12 <small>友の会</small>	おとの月1 夜の人物クロッキー塾(全6日間) <small>夜間 SPECIAL</small>	村山 之都	
7	4/18,5/16,6/27,7/25 <small>先着順</small>	おとの月1 描く人のための美術鑑賞学(全4日間) <small>夜間 SPECIAL NEW</small>	佐藤 友則	
8	4/21,5/19,6/23,7/28,9/8 <small>友の会 抽選</small>	おとの月1シリーズ特別講座 ボザール beaux-arts—内田あぐりゼミ— <small>SPECIAL</small> ※画材: 作品サイズ: 号	内田あぐり	
9	4/4(土) <small>友の会</small>	クロッキーとっくん	古山 浩一	
10	4/5(日)	なんでもない風景を描く	真鍋 修	
11	5/3(日),5/30(土)	現代アートとは?現代画家から学ぶ抽象表現	坂口 竜太	
12	5/2(土)	1日集中鉛筆デッサン基礎講座—構図を学ぶ— ★	伊東 茂広	
13	5/7(木)	透明水彩テクニック—スピード水彩① 静物編—	村山 之都	
14	6/29(月)	透明水彩テクニック—スピード水彩② 風景編—	村山 之都	
15	5/31(日)	抽象のツボ4:「リズム」ずらす造形と感覚・心理	藤田 邦統	
16	6/7(日)	抽象のツボ5:「レイヤー」層構造とは	藤田 邦統	
17	6/28(日)	抽象のツボ6:「地と図」反転する造形と心理	藤田 邦統	
18	5/16(土)	マニアックな日本画技法一方解説—	浦上 義昭	
19	6/27,7/11(土)	テンペラグラッサ～ボッティチェッリとミケランジェロの技法	MDFボード 希望欄 <input type="checkbox"/>	山田 啓貴
20	7/5(日)	ゴッホから学ぶ構図とタッチ—デッサン— ★	大川 心平	
21	8/2(日)	ゴッホから学ぶ構造とヴァルール—色彩表現へ—	今井 陽子	
22	9/6,9/13(日) <small>友の会</small>	絵画研究入門講座—画家の目—	川合 朋郎	
23	9/20(日)	半抽象・半具象のメソッド—立体感と平面性—	出射 茂	
24	9/22(火) <small>友の会</small>	内田あぐり+工藤丈輝 ムービング・ドローイング <small>SPECIAL</small>	内田 あぐり	



上野の森アートスクール「アトリエ展」は、受講生が日頃の成果を発表する場として、毎年2月に開催される展覧会です。出品作品は上野の森美術館本館で展示されます。通常講座の受講生、単発・特別講座、アートレター講座、「日本の自然を描く展」文書講評を受講された皆さま全員が出品資格を有します。

出品者の中から当スクール講師により優秀な作品約20～25点が選ばれ、受賞者には、協賛社よりご提供いただいた記念品と、9月に上野の森美術館ギャラリーで開催する「Selection展」（アトリエ展受賞者によるグループ展）の出品の機会が与えられます。

アップルシード奨励作家

アトリエ展受賞後2年間は、受賞者として無鑑査での展示となります、「アップルシード作家奨励」の対象になります。アートスクール講師、スタッフのオーディエンス投票により選ばれた方には、上野の森美術館大賞展への出品料割引チケットを発行いたします。また、受賞作品はアートスクールのカリキュラム表紙に掲載いたします。



アトリエ展ホームページ

上野の森アートスクールホームページに、アトリエ展ページができました。受賞作品や関連動画、セレクション展情報などもご覧いただけます。アトリエ展の詳細はホームページをご確認ください。



公式ホームページ
をチェック！

「アトリエ展」協賛社

赤澤屋商事、吉祥、喜屋、クサカベ、彩美堂、世界堂、ターナー色彩、ターレンスジャパン、トータスマイアートクラブ、中里、那須野画材工業、名村大成堂、ニッカーエヌ、ホルベイン画材、松田油絵具、マルオカ工業、丸善美術商事、マルマン、ミューズ *マービー（「アトリエ展2026」よりご協賛いただくことに決まりました。）

画材屋さんのご紹介

▶ 喜屋（日本画画材専門店）

〒113-0034 東京都文京区湯島3-44-8 TEL: 03-3831-8688

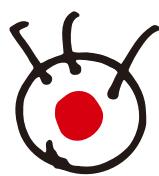
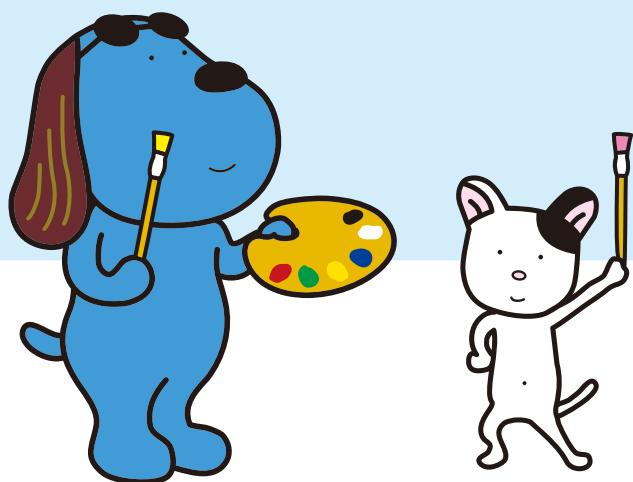
▶ 世界堂 新宿本店（額縁、画材、デザイン用品、文具など豊富に取り揃えています）

〒160-0022 東京都新宿区新宿3-1-1 世界堂ビル1F～5F TEL: 03-5379-1111

※営業時間や定休日は画材店へご確認ください。

※講座の持ち物で指定されている画材に関して、上記店舗での取扱い・在庫があるかどうかアートスクールでは把握いたしかねます。各画材店にお問い合わせください。

新しい世界を描こう。



フジテレビ